

2018年10月

免疫調節作用に着目したヨーグルトの開発と生理効果の応用展開

日中の過ごしやすさから紅葉やスポーツ観戦、レジャー施設などへのお出かけが増えるころではないでしょうか。とはいえ油断すると朝晩の気温の変化などから風邪をひきやすい時期でもあります。服装には気をつけたいところですが、食事の面からも風邪などの体調不良に負けない体づくりが大切です。

今回のオルトメディコ通信では、免疫調節作用に着目したヨーグルトの開発と生理効果の応用展開についての論文をご紹介します。

引用：免疫調節作用に着目したヨーグルトの開発と生理効果の応用展開

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsnfs/71/2/71_99/_pdf/-char/ja

今回の試験では、乳酸菌 OLL1073R-1 株が免疫賦活作用によって NK 細胞活性増強と風邪症状症候群罹患リスクの低減について、マウスを用いた動物試験及び、ヒトを対象としたヨーグルト摂取試験を実施しています。

マウスでの動物試験では、OLL1073R-1 株に含まれているリン酸化された EPS(APS) および OLL1073R-1 株で発酵したヨーグルトを経口投与した結果、NK 活性が増強したことが確認されました。ヒトを対象としたヨーグルト摂取試験では、健常な高齢者を対象に OLL1073R-1 株で発酵したヨーグルト摂取群（8 週間）と牛乳摂取群（12 週間）を比較検証しました。その結果、ヨーグルト摂取群では、摂前後と比較して NK 活性が低値であった被験者の活性が有意に増強されました。さらに、ヨーグルト摂取と牛乳摂取の 2 試験を統合し、メタ解析を行ったところ、OLL1073R-1 株で発酵したヨーグルトの摂取は風邪症状群の罹患リスクを低減することが示唆されました。

ヨーグルトは古くから喫食されてきた食品ですが、免疫への効果、腸内環境への効果など様々な機能が近年では明らかになってきました。同じ食品でも狙える効果が様々なことから、今後は機能性を持ったユニークな食品が増えていくのではないのでしょうか。

オルトメディコでは様々なヒト試験の実施が可能です。お気軽にご相談ください。

試験一覧：<http://www.orthomedico.jp/clinical-trials-price.html>

引き続き皆様に満足いただけるような情報を提供させていただきますので
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。